2024年3月18日 飯田医師会

# 飯田下伊那圏域における医療的ケア児者の入所施設開設に向けた 飯田医師会の取組み報告

# 【経過】

- 2022.9.6 地域医療構想調整会議にて、「医療的ケア児支援」について飯田下伊那圏域内において、受け入れが可能な入所施設が無い課題が挙げられた
- 2022.11.15 長野県医療的ケア児等支援センター副センター長、飯田保健福祉事務所福祉課長 と飯田医師会在宅医療・介護保険担当理事との懇談会
- 2023.2.9 飯田保健福祉事務所福祉課長と飯田医師会長、担当理事との懇談会
- 2023.2.18 医療機関及び老健を対象とした「医療型短期入所事業所」の開設に係る研修会
- 2023.3.7 第1回 医療的ケア児者支援プロジェクト研修会(短期入所施設開設について) 〈参加者:医療機関院長・所長、県庁担当課、飯田保健福祉事務所、飯田医師会〉
- 2023. 3. 29 飯田医師会「医療的ケア児者支援プロジェクト」メーリングリストの開設
- 2023. 7.1 飯田下伊那圏域初の「医療型短期入所事業所(空床型)」の指定(介護老人保健施設)
- 2023.9.13 「医療型短期入所事業所」開設の記者会見
- 2023.9.25 「医療型短期入所事業所」開設について医療的ケア児者保護者への説明会
- 2023.10.12 長野県庁にて医療政策課長、保健・疾病対策課長、及び障がい者支援課長と 飯田医師会担当理事との長期入所施設開設についての懇談会
- 2023.11.17 第2回 医療的ケア児者支援プロジェクト研修会(長期入所施設開設について) 〈参加者:医療機関理事長・院長・所長、県庁担当課、飯田保健福祉事務所、飯田医師会〉
- 2024.1.11 長野県庁にて健康福祉部長と飯田医師会担当理事との飯田下伊那圏域における 長期入所施設開設及び今後の医療的ケア児者施策についての懇談会
- 2024. 2. 21 飯田市・下伊那郡選出県議会議員 4 名あて、「医療的ケア児者に関する 飯田医師会の取り組みについて(情報提供)」を送付

\_\_\_\_\_

2024. 2. 29 長野県議会(令和6年2月定例会)議員提出議案 「医療的ケア児等への支援の充実を求める意見書」原案どおり可決 〈長野県議会議長 → 衆議院議長、参議院議長、内閣総理大臣、財務大臣、厚生労働大臣、 こども家庭庁長官、内閣府特命担当大臣(こども政策)あて〉

# 【 医療型短期入所事業所指定医療機関や施設見学・その他研修会 】

- 2023. 2. 28 長野県飯田養護学校
- 2023.3.27 社会医療法人 城西医療財団 城西病院
- 2023.5.31 独立行政法人 国立病院機構 まつもと医療センター
- 2023.7.18 社会福祉法人 信濃医療福祉センター、長野県花田養護学校
- 2023.11.17 「フィリップスジャパン、フクダライフテック人工呼吸器研修会」(円会センテナリアン)
- 2023.12.1 「てんかん専門医に学ぶてんかんの研修会」(エス・バード) 講師 信州大学医学部小児科学教室 福山 哲広氏

2024年1月11日 飯田医師会 在宅医療・介護保険担当

# 長野県健康福祉部長との懇談会資料

## 南信州圏域における医療的ケア児者の長期入所施設開設に向けた飯田医師会の取組み経過

#### 2022.9

地域医療構想調整会議の課題として、「医療的ケア児者」について、飯田下伊那圏域内の医療的ケア・重症心身障がい者を受け入れられる入所施設が無い現状が挙げられた

#### 2023.2.18

老健、医療機関従事者を対象とした「医療的ケア児者」についての研修会

#### 2023.3.7

第1回 飯田医師会医療的ケア児者支援プロジェクト研修会(短期入所施設開設について)

#### 2023.3.29

飯田医師会医療的ケア児者支援プロジェクトチームメーリングリストの開設

### 2023.11.17

第2回 飯田医師会医療的ケア児者支援プロジェクト研修会(長期入所施設開設について)

# 県庁へのお願い

- (1) 南信州圏域における長期入所施設開設に向けての取り組み
  - ・飯田下伊那、上伊那圏域に長期入所施設が無い
  - ・2023.11.17の研修会において参加医療機関の全員が長期入所開設は無理と認識した
    - →経営難、人材配置難
  - ・福祉・医療合同プロジェクトの設置
    - →医療的ケア児者は生命維持のため医療行為(医師の関わりが必須)を必要とする者
    - →障がい者支援課の取り組みのみは困難
    - →福祉領域のみでは進展しない、医療領域の施策が必要
- (2) 障がい者支援課内の医療的ケア児等支援センターの人事配置
  - ・目的に到達するための計画やデザインの施策が可能な人材配置が望ましい
  - ・副センター長の活動は限界を超越している
    - →サポートが可能な人材配置が必要

### 《出席者》

○健康福祉部長 福田雄一 ○医療衛生技監 笹渕 美香 ○地域医療担当参事 百瀬 秀樹 ○医療政策課長 久保田 敏広 ○保健・疾病対策課長 宮島 有果 ○障がい者支援課長 藤木 秀明 ○医療的ケア児等支援センター 副センター長 亀井 智泉 ○その他 健康福祉部 数名 ○飯田医師会 在宅医療・介護保険担当理事 瀬口里美